



謹賀新年

片平大遥君がやっと二十歳になりました！

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

今年は、とても穏やかなお正月を迎えました。元日は、のんびりとお雑煮を食べて、二日に富良野神社に初詣に家族三人で出かけました。おみくじは「小吉」、三日には、30年ぶりの同窓会があり、上富良野のホテル「ホップス」へ、懐かしい上富良野中学校時代の教え子との再会でした。上富良野中学校6年間で卒業学年を3回も持ちましたが、意外に名前は思っているものです。中には本人より親の顔を覚えている子もいて大笑い！！家庭訪問を繰り返したからでしょうか！？…良い父親、母親になっている姿を見て、涙がでてきました。5年後にまた同窓会を計画すると幹事さんは張り切っていましたので、次のステップ歩む教え子達、そして少し先を生きる私自身も会えるのを楽しみにしています。私は、目下ことぶき大学の生徒と格闘中！？

さて、1月12日（日）サンエーホールで「はたちを祝う会」が行われました。私は記録係で華やかな新成人たちを追って撮影していました。

下の写真は、新成人の代表の8人です。ちょっとリラックスした様子を一枚撮りました。

ここに見慣れた人がいるではありませんか。そうです。片平大遥君です。マスクを外し、ヘアスタイルを変えた二十歳の彼です。幼なじみの同じ年の仲間と一緒に並ぶ」彼は“良い顔”をしていました。

「片平大遥君を始め、全国で約109万人の新成人の皆さんの未来に乾杯！」

新成人の目指すものは一体何なのか、それは大人になることです。

どうぞキラキラ輝く大人として歩いていきましょう。



本日、15日(水)

新年の集い・新年お楽しみ会

～本日の流れ～

9時00分	富良野校自治会役員集合 諸準備
9時30分	学生集合 (バス着) 会場は文化会館の会議室BCDです。
9時40分	朝の集い
10時00分	「新年の集い」 司会：藤野係長 校歌斉唱 近内学長より新年の講話
10時20分	終了 新年お楽しみ会準備 (会場：会議室Cを正面に方向転換)
10時30分	「新年お楽しみ会」 両校学生自治会主催 (司会：富良野校自治会 原副会長)

	開会挨拶 (金子自治会長) 市長挨拶 一月一日合唱 (栞に歌詞記載)
10時40分	学長より乾杯 ビデオ視聴 (50分) 12/4の研究・実践発表交流会を 編集した動画を視聴します。
11時25分	ビンゴゲーム (30分)
12時00分	閉会挨拶 (刑部自治会長)
12時10分	終了 後片付け 山部校の皆さんは、ここで昼食をとって いただきますが、富良野の皆さん方も 同様です。勿論、持ち帰りも自由です。 なお、ゴミの処理については各自持ち 帰りをお願いします。

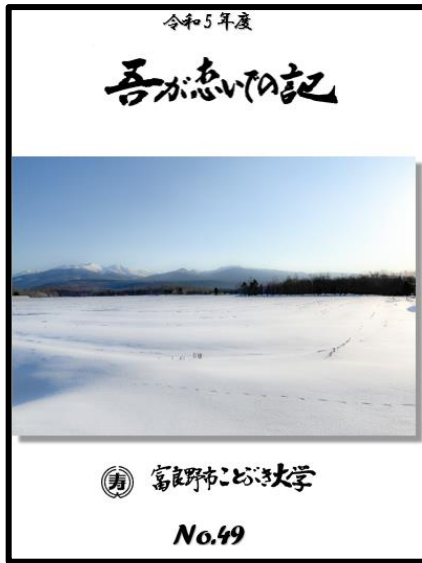
次回、1月29日(水)

午前	クラブ学習、
午後	俳句講座
9時30分	朝の集い
9時50分	クラブ学習の準備
10時00分	クラブ学習 卒業作品づくりとなります。 計画的に進めてください。
12時00分	昼食 休憩
13時00分	俳句講座 兼題「初夢」です。 新春の一句を始めましょう！！
15時00分	終了

今後の予定

2月 5日(水)	旭川市立大学出張講座 健康講座②
2月 19日(水)	クラブ学習 コーラス・踊り
2月 26日(水)	新年度構想 1 〃 2
3月 12日(水)	クラブ学習最終日 卒業式作品展作業
3月 19日(水)	卒業証書授与式
3月 26日(水)	新入学説明会

「我が思い出の記」原稿募集！



「我が思い出の記」編集の時期となりました。

これは、自由投稿ではありませんので、この1年間を振り返り全員の作文を掲載します。

昨年度はコロナ明け、4年振りのNo.49号でした。

次回、作文の原稿用紙を渡しますが、原稿用紙でなくても結構ですし、短くても長くても良いです。

是非、今年1年を振り返り文章にまとめて下さい。

早めの取組をお願いします。

令和7年度のことぶき大学新入学生を募集します！

ことぶき大学生の経験を言葉に替えて積極的に呼びかけてみてください。

富良野市のホームページには、ことぶき大学の入学案内やことぶき通信のバグナンバーも見ることができます。

今年度からは、ラインを利用しての連絡や欠席者への通信の配布を行っています。現在 SNS を利用してのことぶき大学を紹介する準備をしています。

学校の紹介や学習活動を動画や写真で紹介する予定ですが、紹介する前に皆さんに了承を得た上でネットで公開する予定です。



今こそ、学び直しのチャンス!!

仕事や家事に追われる日々の中で、自分自身のための時間を持つことはとても難しいかも知れませんが、人生の新たなステージに進むためには、自分を大切にする時間が必要です。

ことぶき大学では、「より魅力的に生きる」を合言葉に、仲間との学び合いを通じて、新たな人生の発見と出会いを育むことができます。少しでも、自分のための時間を作り、心豊かな毎日を始めましょう。

まずは、お手軽に入学・学習内容など何でもご相談ください。TEL 39-2318

<令和7年度ことぶき大学新入生募集>

入学資格 市内に住んでいる65歳以上(令和7年4月1日現在)の方で、生きがいを求めている方。通学可能な方

修業年数 本科4年間、大学院2年間、研究科1年間、半年度登録制度者(研究科を修了された方)

学習内容 教養/教科(健康・俳句・文学・古典芸能・IT・旭川市立大学出張講座)、奉仕活動、自治会活動、クラブ学習(書道・切絵・絵手紙・陶芸・茶道)、同好会活動(スノック・三球・フロアカーリング・卓球・映画等)、各種行事(研修旅行・遠足・三市町交歓会)・・・年間34日(令和6年度)

必要経費 共通教材費(年間1,200円)、クラブ学習(教材費)、研修旅行や学生自治会活動等の費用

申込み 令和7年3月24日(月)まで

お問合せ/申込み

教育振興課社会教育係(複合庁舎2階) 39-2318

生涯学習センター 42-2407

東山公民館 27-2121



このQRコードは、富良野市のホームページのことぶき大学にリンクしています。入学案内や学習活動、また定期的に発行している通信をご覧いただくことができます。



ティータイム・お薦めの1冊

第3編 読者投稿

北海道新聞

2025年(令和7年)1月13日(月曜日)

言葉の現在地 4

言葉の現在地 2025

絵本「もうじきたべられるぼく」が語るもの

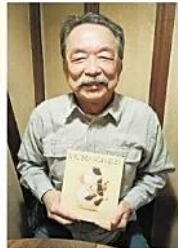
「もうじきたべられるぼく」の絵本が、子どもも大人も、多くの人の心を揺り動かしている。乳牛の絵として生まれ、幼くして母と離された主人公が、食糧不足に悩む周囲、母のいる牧場を最後に訪れる物語だ。運命を受け入れた主人公は最後に「せめて、ぼくをたべた人か…」とメッセージを残す。

作者・はせがわ ゆうじさん
(編集委員 西田千十)

せめて ぼくをたべた人が
自分のいのちを 大切にしてくれたら
いいな
(「もうじきたべられるぼく」より)

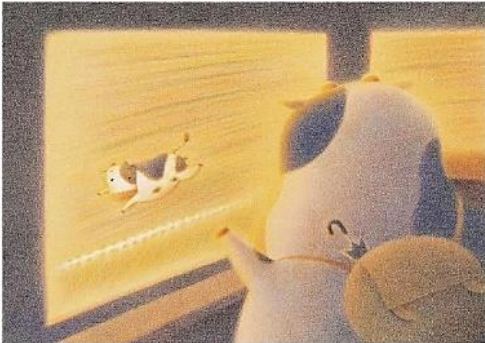
せめて自分を大切にしてほしい

人が決める命の重み



「もうじきたべられるぼく」を持つ作者のはせがわゆうじさん＝昨年12月11日、名古屋市

「もうじきたべられるぼく」が語るもの。北道産には乳牛と肉用牛を育てる畜産農家が、乳牛の絵として生まれ、幼くして母と離された主人公が、食糧不足に悩む周囲、母のいる牧場を最後に訪れる物語だ。運命を受け入れた主人公は最後に「せめて、ぼくをたべた人か…」とメッセージを残す。



「もうじきたべられるぼく」の一場面。「ぼく」に気付いた「おかあさん」が列車を遠くかける。(はせがわゆうじさん提供)

飼育する牛全て名付け

別海の牧場主 高橋正明さん



別海の牧場主高橋正明さん。飼育する牛全てに名前を付ける。

北道産には乳牛と肉用牛を育てる畜産農家が、乳牛の絵として生まれ、幼くして母と離された主人公が、食糧不足に悩む周囲、母のいる牧場を最後に訪れる物語だ。運命を受け入れた主人公は最後に「せめて、ぼくをたべた人か…」とメッセージを残す。

居場所のない牛引き取る

当別「かくれ家」 関口晴美さん



当別「かくれ家」の関口晴美さん。居場所のない牛を引き取る。

北道産には乳牛と肉用牛を育てる畜産農家が、乳牛の絵として生まれ、幼くして母と離された主人公が、食糧不足に悩む周囲、母のいる牧場を最後に訪れる物語だ。運命を受け入れた主人公は最後に「せめて、ぼくをたべた人か…」とメッセージを残す。

食べ物の先語り伝える

「家畜写真家」 滝見明花里さん



「家畜写真家」の滝見明花里さん。食べ物の先語りを伝える。

北道産には乳牛と肉用牛を育てる畜産農家が、乳牛の絵として生まれ、幼くして母と離された主人公が、食糧不足に悩む周囲、母のいる牧場を最後に訪れる物語だ。運命を受け入れた主人公は最後に「せめて、ぼくをたべた人か…」とメッセージを残す。

本の紹介です。上の記事は、1月13日北海道新聞に連載されていた「ことばの現在地 2025」ですが、この連載は、原発や沖縄、戦争などを巡って心に残る言葉、記録すべき言葉をたどる連載です。東京電力福島第一原発事故当時の政府首脳や米軍基地が集中する沖縄の人々の声などを紹介。戦争や安全保障、水俣病、新型コロナ、映画や絵、詩や小説など多様なテーマを取り上げている。先ほど、「言葉の現在地 2017-2024」関口裕士著が出版されたということです。

絵本「もうじきたべられるぼく」が語るもの、「飼育する牛すべて名づけ」「居場所のない牛を引き取る」「食べ物の先語り伝える」どれも考えさせられる内容です。

ちなみに私の娘がまだまだ小さかった頃、妻と初めてお肉屋さんに行った娘が「どうして肉の上に、牛さんや豚さんの絵があるの？」…